

外に出て、生活の楽しみを見つけることが大切



ワークホーム聖恵（忠海中町）でパソコンに向かい、真剣な表情で入力作業をするのは、高原珠実さん。生活を楽しむことを大切にしながら、脳性麻痺による身体障害と共に、人生を歩んでいます。施設に入所したのは20代の時。動かせる指を使って、パンフレットやチラシの文章を入力する仕事を始めたのも、この頃です。「作業は慣れましたが、分からない言葉を入力する時は辞書で調べるので、大変。目標はポスターをつくることです。」と話す高原さん。机には、使い込まれた辞書が並んでいます。高原さんは毎日、新庄町の自宅から忠海駅までバスと電車を乗り継いで通っています。日々の生活の中で、気づくこともいろいろあるようです。



たかはら たまみ
高原 珠実さん（53歳 / 新庄町）

「買い物に行つた時、高い所の物が取れないことがあります。気づいて、手伝ってくれる人もいますが、いないことも…。勇気を出して声を出せばよいのですが、なかなか声が出ないんです。それでも、外に出て、生活の楽しみを見つけることが大切。障害をもつみんなにどんな外に出て行つてもらいたい。」家族と旅行に行くことが楽しみな高原さん。家族の支えがあると笑顔で話します。一方で、将来、足腰が弱くなつて外に出にくくなるのでは、という不安も抱えています。「生活を楽してみたい。そのために頑張りたい。」という気持ちは多くの人に共通するものです。みなさん、少し視点を変えて周りを見てみませんか。一人ひとりが生き生きと生活できる環境をつくるために、何かできることがあるかもしれません。

障害のある人のための相談窓口

▼市内の相談支援事業所では、必要な情報の提供や専門機関の紹介、福祉サービスの申請や利用のためのお手伝いなどを行っています。

種別(主なもの)	事業所名	住所	電話番号
身体障害分野	竹原地域障害者生活支援センター聖恵	忠海中町三丁目 16-1	23-2450
知的障害分野	地域支援センターまいらいふ	忠海東町二丁目 10-1	26-1511
精神障害分野	地域生活支援センター 365	下野町 2402-1	22-7655

社会福祉協議会のふれあい福祉相談センターで障害児者相談を行っています。
日時 毎月第3木曜日 10:00～15:00 場所 ふくしの駅

種別	氏名	住所	電話番号
身体障害者相談員	辻 勝實	東野町	29-1855
	森崎 哲雄	下野町	22-2751 (FAX兼)
	井上 文夫	吉名町	25-1368
	向井 由美	竹原町	22-8076 (FAX兼)
	梨和 美鈴	忠海中町	26-1025
知的障害者相談員	櫻井 睦江	東野町	29-0169

◀身近な相談員にお気軽にご相談ください。任期は、平成22年度～23年度の2年間です。

問い合わせ
福祉課障害福祉係 ☎ 22-7743

市政発展のためのご意見などをお寄せください

郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課「市長への私の提案」係
FAX 22-0998 ※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。
ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただく場合があります。

ティータイトム 今月の表紙は、公共交通教室の様子。「このバスは、吉名小学校行きです。お乗り間違えございませんか？」車内アナウンスを体験しながら、元気いっぱい3・4年生を乗せたバスが校庭を走り、公共交通の役割について学びました。みなさんも一緒にこれからの公共交通について考えてみませんか。(※)

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	29,370人
男	13,840人
女	15,530人
	12,939世帯
1年前	29,791人
5年前	31,271人
	-11月1日現在-



かぶやパンダのクリスマス

